2025 年 1 月 27 日

報道関係者各位

アルバルク東京とフレンドシップ協定締結
学生らがメディカルサポート・AED 普及促進
2025 シーズンは約 30 試合に派遣

学校法人国士舘（理事長・瀬野隆＝東京都世田谷区）はこのほど、トヨタアルバルク東京株式会社とフレンドシップ協定を締結しました。

本協定では、相互の連携・協力を通じて、学生教育や研究の充実、地域スポーツクラブの発展に加え、持続可能なまちづくりおよび地域活性化への貢献並びに両者の発展に資することを目的に、知的資源、人的資源および物的資源の相互利活用を促進し、共同事業に取り組みます。

また、本協定に基づきメディカルサポートに関する覚書を締結しました。B リーグにおけるアルバルク東京の 2025-2026 シーズン公式戦ホームゲーム約 30 試合（レギュラーシーズン）に本学の救急救命士、スポーツファーストレスポンダー（SFR）資格を有する学生などで構成される「メディカルサポートチーム」を派遣し、選手ならびに観客・大会関係者などの救護活動を行います。

◆協定締結の背景

アルバルク東京の所属する B リーグでは、命を守る(Safety)、選手稼働の最大化(Condition)、パフォーマンスの向上(Strength)という理念を持つ「SCS 推進チーム」が 2023 年に立ち上げられるなど、安心・安全なスポーツ現場構築のための取り組みが広がっています。アルバルク東京は、Safety 面において会場内の救急体制などに注力するチームの一つです。

それらを発展させるべく、2024-2025 シーズンにはさまざまなスポーツ大会などで救護の実績を持つ本学に協力を打診。本学はこれを受けホームゲーム 5 試合にメディカルサポートチームなどを派遣し救護サポートを実施しました。さらに今シーズンからは、EAP（緊急時対応計画）の訓練に共に取り組むなど安全な環境づくりへ総合的に貢献しており、これらの実績が評価され、今回の協定締結に至りました。

▲本学メディカルサポートチーム

◆国士舘大学メディカルサポートチームの取り組み

本学では、医師・救急救命士・アスレティックトレーナーの資格を有する教員および救急救命士を目指す学生、本学独自資格であるスポーツファーストレスポンダー（SFR）の資格を有する学生から構成されるメディカルサポートチームを組織しています。本サポートチームは、観客の方々が安心してチームを応援できるような救護体制を構築しており、サッカーやバスケットボール、ラグビーなどさまざまなスポーツ大会で実績があります。会場では、チームの方々と連携し、体調不良者の早期発見・適切な応急手当を行うとともに、救急処置に関する啓発活動を行うなど「安心・安全」なスポーツ現場構築へ総合的に貢献しています。

また、これらのノウハウを広げるため、学内クラブ指導者やプロスポーツ指導者および関係者向けの講習会も実施しています。講習会では、ファーストエイドやスポーツ傷害に対する対応などスポーツ現場におけるリスクを踏まえながら総合的に指導し、安心・安全な大会運営に貢献できる人材を養成しています。

▲SFR 講習会の様子

▲指導する曽根准教授

◆曽根悦子准教授（防災・救急救助総合研究所）のコメント

スポーツ現場では、選手のプレー中の事故やけがなどに加え、観客の熱中症や体調不良などさまざまなリスクが潜んでいます。選手、観客ともに安心して試合に臨むためには、安全が確保された環境が必要になります。SFRの知識を身に付けることは、多くのリスクに対して迅速に対応可能な体制を整えることにつながります。選手、観客ともに安心して試合に臨むことができる”安心・安全なスポーツ現場”の確立ができるよう、スポーツ界全体にこれらの取り組みを広めていきたいです。

◆参考

【スポーツファーストレスポンダー講習会を実施しています】※国士舘大学ホームページ

https://www.kokushikan.ac.jp/news/003419.html

【アルバルク東京 2025-2026 シーズン日程表】※アルバルク東京ホームページ

https://www.alvark-tokyo.jp/game-schedule/2025-26/

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ
学校法人国士舘 理事長室広報課（担当：松田）
TEL: 03-5481-3115　FAX: 03-5481-5477　E-mail:kouhou@kokushikan.ac.jp
※取材ご希望の場合はお問い合わせください。